

平成28・29年度 各局等改革プログラム評価シート(案)

取組の概要				
課題名	改革項目		課題名	
	1(4) 市民サービス向上に向けた民間部門の活用		1 ●●施設における民間活力の導入(●●局)	
事務事業	事務事業コード	事務事業名	実施計画の記載	
	12345678 12345679	●●施設整備事業 ●●施設運営事業	有	
担当	所属コード	所属名	担当者	連絡先
	.....	●●課	●●	内.....

計画 (Plan)	
現状	利用者満足度の向上と、施設の管理・運営の効率化に向け、●●施設については、平成●(20●)年度以降、指定管理者制度の導入を進めており、平成●(20●)年度現在において、10施設中5施設の民営化が完了しました。
取組の方向性	今後も、限られた財源の中、●●需要の多様化・増大化に的確に対応しながら、民間のノウハウを活用した利用者満足度の向上を図るため、引き続き、●●施設における指定管理者制度の導入を進めます。あわせて、民間活力導入の新たな手法として、財政的効果や、サービス向上の効果がより高い、指定管理者制度導入施設の民間譲渡の取組についても検討を進めます。
具体的な取組内容 (活動目標)	【H28】2施設の民営化の実施 【H29】3施設の民営化の実施 【H28・H29】指定管理者制度導入施設の民間譲渡についての事業者との協議の実施

実施結果 (Do)							
行財政改革プログラムにおける活動(アウトプット)指標							
活動指標	1	●●施設における民営化施設数	目標	/	/	10	施設
		説明 ●●施設における指定管理者制度導入施設数	実績	5	7	10	
	2		目標	/	/		
		説明	実績				
その他の活動実績		【H28・H29】指定管理者制度導入施設の民間譲渡についての事業者との協議の実施					
当初目標に対する達成度		2	1. 目標を上回った 2. ほぼ目標どおり 3. 目標を下回った 4. 状況の変化により目標を達成できなかった				

平成28年度は「活動目標に対する達成度」

…平成28年度評価シートからの変更箇所

評価 (Check)									
総合計画又は行財政プログラムにおける成果(アウトカム)指標									
成果指標	1	(例) ●●施設における利用者の満足度	区分	目標・実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
		説明 ●●施設の利用者に向けたアンケートの平均点 ※10点満点	モノ	目標	/	/	8.5		点
			実績	8.0	8.0	8.3			
	2				目標	/			
		説明			実績				
	3				目標	/			
説明				実績					

取組の 総体的 効果	区分									
	ヒト	-	モノ	○	カネ	○	情報	-	その他	-
	区分選択の理由									
<p>【モノの効果】 (H28・H29) 成果指標である「●●施設における利用者の満足度」について、平成29年度は8.3点で、平成27年度の8.0点からの向上が図れたものの、目標の8.5点には至りませんでした。</p> <p>【カネの効果】 (H28) 指定管理料と施設運営にかかる人件費削減額との差額による 1.2億円の財政的効果を平成29年度予算に反映しました。 (H29) 指定管理料と施設運営にかかる人件費削減額との差額による 1.3億円の財政的効果を平成30年度予算に反映しました。</p>										

事務事業 等への 貢献度	区分		区分選択の理由	
	A. 大きく貢献した B. 貢献した C. 貢献できたが課題もあった D. 課題があった X. 測定できない Y. その他(未だ効果は発現していない)	C	計画期間の2か年で計2.5億円の財政効果を上げることができたものの、成果指標である「●●施設における利用者満足度」は目標の8.5点には及ばなかったため。	

改善 (Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 活動目標達成に伴い取組終了 II. 活動目標を達成したが、次期計画期間も取組を継続 III. 活動目標を達成していないため、次期計画期間も取組を継続 IV. 状況の変化等により取組を中止	II 今後も、限られた財源の中、●●需要の多様化・増大化に的確に対応しながら、民間のノウハウを活用した利用者満足度の向上を図るため、●●施設における指定管理者制度の導入を進めます。あわせて、民間活力導入の新たな手法として、財政的効果や、サービス向上の効果の一層の向上が期待できる指定管理者制度導入施設の民間譲渡の取組について、これまでの事業者との協議の結果も踏まえながら、基本方針を策定します。(↑2期プログラムの「取組の方向性」「具体的な取組内容」から抜粋)

I. 計画期間中の目標を達成  
II. 現状のまま取組を継続  
III. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続  
IV. 状況の変化により取組を中止

平成28年度